令和6年度 第2回地震・火山噴火予知研究協議会 議事録(案)

日時 令和6年11月28日(木) 10:00~11:35 場所 web 会議システムによるリモート会議

出席者:

(委員)

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター(議長)	朱	持任教授	谷岡勇市郎
京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター長	(副議長)	
		教授	大倉敬宏
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長		教授	高橋浩晃
弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所長		教授	前田拓人
東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター長		教授	日野亮太
東京大学地震研究所長		教授	古村孝志
東京大学地震研究所附属地震予知研究センター長		教授	上嶋 誠
東京大学地震研究所附属火山噴火予知研究センター長		准教授	金子隆之
東京大学地震研究所附属附属地震火山研究連携センター長		教授	加藤尚之
東京大学地震研究所附属観測開発研究センター長		教授	小原一成
東京大学地震研究所附属日本列島モニタリング研究センター長		准教授	鶴岡弘
東京大学大学院理学系研究科附属地殼化学実験施設長		教授	鍵裕之
東京科学大学総合研究院多元レジリエンス研究センター	(代理)	准教授	神田 径
東海国立大学機構名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究セ	ンター長	教授	渡辺俊樹
京都大学防災研究所附属地震災害研究センター長		教授	澁谷拓郎
京都大学防災研究所附属火山活動研究センター長		教授	中道治久
高知大学理工学部附属高知地震観測所長		准教授	大久保慎人
九州大学大学院理学研究院付属地震火山観測研究センター長		教授	松本 聡
鹿児島大学大学院理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所長		教授	中尾 茂
東北大学災害科学国際研究所		教授	木戸元之
秋田大学大学院国際資源学研究科		助教	坂中伸也
千葉大学大学院理学研究院	(代理)	准教授	津村紀子
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻		教授	井出 哲
東京大学史料編纂所(東京大学地震火山史料連携研究機構)		教授	杉森玲子
東京大学大気海洋研究所		准教授	朴 進午
東京大学大学院情報学環附属総合防災情報研究センター		教授	関谷直也
東京海洋大学学術研究院エネルギー学部門		教授	中東和夫
富山大学学術研究部都市デザイン学系		教授	渡邊 了
山梨大学大学院総合研究部附属地域防災・マネジメント研究センター		助教	佐藤史弥

神戸大学海洋底探査センター 教授 島 伸和

広島大学大学院人間社会科学研究科

教授

後藤秀昭

立命館大学総合科学技術研究機構 教授 川方裕則

国立文化財機構奈良文化財研究所 主任研究員 村田泰輔

情報通信研究機構電磁波研究所 (代理)研究マネージャー 上本純平

防災科学技術研究所地震津波防災研究部門 上席研究員 高橋成実

海洋研究開発機構海域地震火山部門 専門部長 石原 靖

産業技術総合研究所地質調査総合センター 活断層・火山研究部門 キャリアリサーチャー 田中明子

国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター (代理) 地殻変動研究室長 宗包浩志

気象庁地震火山部管理課 地震津波対策企画官 青木重樹

海上保安庁海洋情報部技術・国際課 地震調査官 伊藤弘志

北海道立総合研究機産業技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所

地域地質部長 石丸 聡

山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター長 研究管理幹 石峯康浩

東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部長教授大湊隆雄

東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長 准教授 五十嵐俊博

京都大学防災研究所地震防災研究部門(戦略室長) 教授 宮澤理稔

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター(予算委員長) 教授 青山 裕

防災科学技術研究所火山研究推進センター センター長 清水 洋

産業技術総合研究所地質調査総合センター連携推進室国内連携グループ グループ長 宍倉正展

(協議会オブザーバー)

気象庁地震火山部管理課 火山対策企画官 重野伸昭

(当日オブザーバー)

文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 課長 梅田裕介

文部科学省研究開発局地震火山防災研究課
専門職 齊藤隆太

文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 (傍聴) 地震調査管理官 上野 寛

東京大学地震研究所 事務長 山村仁子

東京大学地震研究所 副事務長 计角隆之

東京大学地震研究所研究支援チーム共同利用担当 主査 春山秀雄

東京大学地震研究所研究支援チーム共同利用担当 上席係長 峯 貴志

東京大学地震研究所財務チーム経理担当 係長 佐伯祐哉

東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部

学術専門職員 荒井道子

欠席者:

(委員)

新潟大学災害・復興科学研究所 准教授 片桐昭彦 信州大学教育学部 教授 廣内大助 京都大学防災研究所 教授 松島信一 琉球大学島嶼防災研究センター 教授 カストロ ホワンホセ 兵庫県立大学環境人間学部 教授 木村玲欧 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授 永野康行 関東学院大学防災・減災・復興学研究所/ 人間共生学部 准教授 大友章司 東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長 准教授 山崎健一

(協議会オブザーバー)

防災科学技術研究所火山防災研究部門

部門長 藤田英輔

【報告事項】

1. 文部科学省からの報告

久利測地学専門官より,地震火山調査研究に関連する令和7年度文部科学省概算要求,科学技術・学術審議会測地学分科会の審議状況等について報告があった.

2. 令和6年度年次報告のとりまとめ方法と成果報告シンポジウム(案)

大湊企画部長より、令和6年度年次報告のとりまとめ方法と今後の日程についての報告があった.あわせて、令和6年度成果報告シンポジウムについて、開催形態が対面中心であること、会場が東京大学武田ホールであること、日程が令和7年3月5日から7日の3日間であることについて報告があった.

3. 東大地震研と京大防災研の拠点間連携共同研究について

松島研究代表者の代理として加藤研究代表者より,拠点間連携共同研究委員会の議事についての報告があった.また,令和7年度拠点間連携共同研究の公募の周知と応募の呼びかけがあった.

4. 令和7年度東京大学地震研究所概算要求について

古村地震研究所長より、令和7年度東京大学地震研究所概算要求について報告があった.

5. 令和6年度および7年度公募研究・特定共同利用(A-01)について

大湊企画部長より,令和6年度公募研究及び特定共同利用(A-01)の採択結果について報告があった.また,令和7年度公募研究及び特定共同利用(A-01)の応募状況と審査状況の報告があった.

6. 戦略室の活動報告

宮澤戦略室長より,令和5年度成果の概要の作成,拠点間連携共同研究に関する議論,令和6年度および令和7年度公募研究の戦略室審査について報告があった.

7. 定常観測点検討ワーキンググループ報告

高橋ワーキンググループ主査より,ワーキンググループ会合での報告と議論の内容について報告があった.

8. その他

協議会オブザーバーである気象庁の重野火山対策管理官より、火山本部発足を受けた役割見直しの結果、火山噴火予知連絡会が役割を終えたとして終了したとの報告があった.

【審議事項】

- 1. 令和6年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会議事録の確認 令和6年度第1回地震・火山噴火予知研究協議会議事録(案)が承認された.
- 2. 東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会規則の改定について 大湊企画部長より、参画機関の名称変更に伴う協議会規則改定の提案があり、承認された.
- 3. 令和6年度地震・火山噴火予知研究協議会 企画部推進室員の承認 大湊企画部長より、推進室員を1名追加する提案があり、承認された。
- 4. 令和7年度地震研究所客員教員の推薦

大湊企画部長より,令和7年度地震研究所客員教員4名の協議会推薦枠について候補者の提案があり,承認された.

5. 災害の軽減に貢献するための観測研究経費による研究員の雇用について

大湊企画部長より、観測研究計画経費による令和7年度の特任研究員雇用に対して5件の応募があったことが報告された. 続いて、この研究員雇用に関する申し合わせの一部を計画の現状にあわせるための修正案が提案され、承認された.

6. 企画部戦略室構成員選考委員会の設置について

大湊企画部長より,来年度の企画部戦略室構成員を選考する選考委員会の設置が提案された.協議会委員選出の2名に関する選挙が実施され、加藤尚之委員、高橋浩晃委員が選出された.両委員と,議長が指名した大倉敬宏委員、中道治久委員の計4名が選考委員会を構成することとなった.また,議長より,大倉敬宏委員が選考委員長に指名された.

7. 地震・火山噴火予知研究協議会の名称について

協議会名称検討ワーキンググループの渡辺主査から、ワーキンググループにおける議論の経緯についての報告があり、協議会名称を「地震火山観測研究推進協議会」とすること、その英訳を「Council for Advancing Earthquake and Volcano Research」とすることが提案された。異議は無く、提案は承認された。

大湊企画部長から,名称変更にはこのあと東京大学での手続きが必要であり,4月1日に新名称に代わる 予定であること,さまざまな文書に書き込まれた協議会名称は一度には変更できない可能性もあること について補足説明があった.

【その他】

1. 実績報告書の作成について

地震研究所共同利用担当春山主査より,実績報告書の作成と注意点について説明があった.